



2026年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年5月14日

上場会社名 ニッポンインシュア株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5843 URL <https://www.nipponinsure.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂本 真也
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼管理事業部長 (氏名) 竹村 洋一 (TEL) 092(726)1080
 半期報告書提出予定日 2026年5月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第2四半期（中間期）の業績（2025年10月1日～2026年3月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	2,064	15.6	590	52.5	602	51.0	417	53.3
2025年9月期中間期	1,785	14.6	387	45.1	399	55.3	272	57.8

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	145.64	144.00
2025年9月期中間期	97.58	95.71

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期中間期	5,624	2,888	51.4
2025年9月期	5,337	2,494	46.7

(参考) 自己資本 2026年9月期中間期 2,888 百万円 2025年9月期 2,494 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	19.00	19.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	—	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,233	13.3	883	16.4	887	14.5	617	16.8	218.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年9月期中間期	2,869,800株	2025年9月期	2,824,300株
2026年9月期中間期	103株	2025年9月期	103株
2026年9月期中間期	2,869,581株	2025年9月期中間期	2,794,287株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビュー対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本報告書に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2026年5月28日（木曜日）午後6時から投資家向けの決算説明会（オンライン説明会）を開催する予定であります。なお、決算説明会で使用する決算説明会資料につきましては、本日、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などを背景に、緩やかな回復基調を維持しております。一方で、米国における通商政策や金融政策の動向、中東地域を中心とする地政学的リスクの高まりに加え、エネルギー・原材料価格の高止まりや物価上昇の継続による個人消費への影響などから、引き続き先行き不透明な状況が続いております。

当社の関連業界である賃貸不動産業界においては、デジタル技術の進化により、契約手続きのデジタル化が引き続き進展しております。具体的には、契約書類のオンライン化や電子署名の導入が行われており、紙の契約書の作成や保管、配送に係る業務負担の軽減が進んでおります。また、電子契約システムの活用拡大により、契約のスピードアップやリモートでの取引が可能となるなど、業界全体のデジタルトランスフォーメーション(DX)が進展しております。

このような事業環境のもと、当社は多様化する顧客ニーズに対応するべく、独自開発した契約管理クラウドシステム「Cloud Insure(クラウドインシュア)」のリニューアルを通じて、更なる顧客の利便性向上を進め、サービスの業容拡大を目指してまいりました。

この結果、当中間会計期間の経営成績は、売上高2,064,801千円(前年同期比15.6%増加)、営業利益590,757千円(前年同期比52.5%増加)、経常利益602,649千円(前年同期比51.0%増加)、中間純利益417,927千円(前年同期比53.3%増加)となりました。

なお、セグメント別の経営成績につきましては次のとおりであります。

(保証事業)

保証事業におきましては、積極的な新規取引先の開拓を継続することにより、新規優良顧客の獲得に努め、シェア拡大を目指してまいりました。既存クライアントへは、契約管理クラウドシステム「Cloud Insure(クラウドインシュア)」のリニューアル以外にも、随時情報収集を行い、タイアップを通じて新たな商品設計の提案を行うなど、各施策を実施し顧客ニーズへの対応強化を図ったため、契約件数が順調に推移しました。なお、SMSを使ったWEB請求・オートコール・AIオペレータによるオートメーション化を図るなど、回収効率向上にも取り組んでまいりました。

この結果、本報告セグメントの売上高は1,949,641千円(前年同期比16.4%増加)、セグメント利益は720,377千円(前年同期比39.1%増加)となりました。

(その他)

その他の区分におきましては、ランドリーサービスについては、店舗の美化向上に向けた業者による清掃を行い、「安心、安全、清潔」な店舗を維持するように努めました。

フィットネスサービスについては、お客様一人ひとりに合わせたサポート体制を目指し、ストレッチ教室の開催やカウンセリングを通じてフォロー体制を強化してまいりました。さらに、近隣の商業施設などを活用した集客活動を通じて、新規会員の獲得を積極的に行ってまいりました。

この結果、その他の区分の売上高は115,159千円(前年同期比3.6%増加)、セグメント利益は23,381千円(前年同期比18.1%増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の状況

(資産)

総資産の残高は、前事業年度末に比べ287,759千円増加し、5,624,832千円となりました。

流動資産の残高は、前事業年度末に比べ298,331千円増加し、5,020,038千円となりました。これは主に、現金及び預金が125,849千円増加、未収入金が92,567千円増加、求償債権が146,016千円増加、貸倒引当金が42,368千円増加したことなどによるものであります。

固定資産の残高は、前事業年度末に比べ10,572千円減少し、604,794千円となりました。これは無形固定資産が8,040千円増加した一方で、有形固定資産が4,835千円減少、投資その他の資産が13,777千円減少したことなどによるものであります。

(負債)

負債合計は、前事業年度末に比べ106,083千円減少し、2,736,245千円となりました。これは主に、流動負債の前受収益が56,041千円減少、未払金が21,413千円減少、保証履行引当金が32,697千円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ393,842千円増加し、2,888,586千円となりました。これは主に、利益剰余金が中間純利益の計上により417,927千円増加した一方で、配当金の支払いにより53,659千円減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ125,849千円増加し、2,885,646千円となりました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは150,996千円の収入(前年同期は125,192千円の収入)となりました。これは主に、税引前中間純利益602,649千円、貸倒引当金の増加42,368千円、未収入金の増加△92,567千円、求償債権の増加△146,016千円、前受収益の減少△56,041千円、法人税等の支払額△180,277千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは2,107千円の収入(前年同期は25,552千円の支出)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出△10,462千円、保険積立金の解約による収入13,654千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは27,255千円の支出(前年同期は35,705千円の支出)となりました。これは主に、配当金による支出△52,927千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の業績予想につきましては、2025年11月14日の「2025年9月期決算短信」で発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当中間会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,759,797	2,885,646
売掛金	20,977	21,674
未収入金	917,041	1,009,609
求償債権	1,593,546	1,739,562
その他	61,623	37,191
貸倒引当金	△631,278	△673,647
流動資産合計	4,721,706	5,020,038
固定資産		
有形固定資産	26,270	21,435
無形固定資産	112,170	120,211
投資その他の資産	476,924	463,147
固定資産合計	615,366	604,794
資産合計	5,337,073	5,624,832

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当中間会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	481,000	480,000
1年内返済予定の長期借入金	864	864
未払金	76,937	55,523
未払法人税等	189,780	197,245
預り金	140,780	147,934
前受収益	1,393,063	1,337,021
賞与引当金	37,682	37,773
保証履行引当金	385,911	353,214
その他	17,725	15,527
流動負債合計	2,723,744	2,625,104
固定負債		
長期借入金	5,512	5,080
退職給付引当金	36,662	37,425
役員退職慰労引当金	73,772	67,720
その他	2,637	915
固定負債合計	118,584	111,141
負債合計	2,842,328	2,736,245
純資産の部		
株主資本		
資本金	357,314	372,102
資本剰余金	377,543	392,330
利益剰余金	1,760,122	2,124,390
自己株式	△236	△236
株主資本合計	2,494,744	2,888,586
純資産合計	2,494,744	2,888,586
負債純資産合計	5,337,073	5,624,832

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,785,691	2,064,801
売上原価	639,929	666,233
売上総利益	1,145,762	1,398,568
販売費及び一般管理費	758,507	807,811
営業利益	387,254	590,757
営業外収益		
受取利息	1,269	3,923
受取配当金	2,400	3,000
受取補償金	7,095	-
保険解約返戻金	-	1,937
償却債権取立益	1,740	2,477
その他	794	3,064
営業外収益合計	13,299	14,403
営業外費用		
支払利息	1,282	1,715
その他	192	795
営業外費用合計	1,475	2,511
経常利益	399,078	602,649
税引前中間純利益	399,078	602,649
法人税、住民税及び事業税	130,057	186,048
法人税等調整額	△3,653	△1,326
法人税等合計	126,403	184,721
中間純利益	272,674	417,927

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	399,078	602,649
減価償却費	17,019	20,879
貸倒引当金の増減額(△は減少)	64,316	42,368
賞与引当金の増減額(△は減少)	△797	91
保証履行引当金の増減額(△は減少)	△24,552	△32,697
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,463	762
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,391	△6,052
受取利息及び受取配当金	△3,669	△6,923
支払利息	1,282	1,715
売掛債権の増減額(△は増加)	△1,972	△697
未収入金の増減額(△は増加)	△101,026	△92,567
求償債権の増減額(△は増加)	△150,738	△146,016
預り金の増減額(△は減少)	△9,000	7,154
前受収益の増減額(△は減少)	66,114	△56,041
その他	△5,140	△8,571
小計	259,767	326,054
利息及び配当金の受取額	3,669	6,923
利息の支払額	△1,282	△1,702
法人税等の支払額	△136,962	△180,277
営業活動によるキャッシュ・フロー	125,192	150,996
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	-	△1,191
無形固定資産の取得による支出	△25,552	△10,462
保険積立金の解約による収入	-	13,654
その他	-	107
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,552	2,107
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,500	△1,000
長期借入金の返済による支出	△432	△432
株式の発行による収入	-	29,575
配当金の支払額	△30,301	△52,927
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,448	△2,470
その他	△23	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,705	△27,255
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	63,935	125,849
現金及び現金同等物の期首残高	2,460,424	2,759,797
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,524,359	2,885,646

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	保証事業		
売上高			
顧客との契約から生じる収益	169,539	111,157	280,697
その他の収益	1,504,994	—	1,504,994
外部顧客への売上高	1,674,534	111,157	1,785,691
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,674,534	111,157	1,785,691
セグメント利益	518,026	19,804	537,831

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ランドリーサービス及びフィットネスサービスを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	518,026
「その他」の区分の利益	19,804
全社費用(注)	△150,576
中間損益計算書の営業利益	387,254

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当中間会計期間(自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	保証事業		
売上高			
顧客との契約から生じる収益	209,010	115,159	324,170
その他の収益	1,740,630	—	1,740,630
外部顧客への売上高	1,949,641	115,159	2,064,801
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,949,641	115,159	2,064,801
セグメント利益	720,377	23,381	743,758

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ランドリーサービス及びフィットネスサービスを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	720,377
「その他」の区分の利益	23,381
全社費用(注)	△153,001
中間損益計算書の営業利益	590,757

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。